

会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会
会議名	第1回教員研修開発事業統括委員会
開催日時	令和7年10月2日(木) 13:00~15:00
場所	リファレンス キャンナルシティ貸会議室
出席者	文科省事業担当理事：下菌 恵子 計1名 委員対面：岡村 慎一、植上 一希、小田 政江、柳田 祐大 委員OL：泉田 優、猪俣 昇、佐久間 雛 計7名 請負業者：飯塚 正成 計1名 合計9名
議題等	<p>プロジェクト同期／状況報告のまとめ</p> <p>会議の目的・全体概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 本会議は「教員研修統括委員会」の初回として、3年目（最終年度）の各研修開発・実施状況を統括し、年末～年始に集中実施される研修の調整、次年度以降の普及・継続運用（特にLMS活用、デジタル化とコミュニティ運営）方針を共有・合意することを目的とする。 これまで別事業で運用してきた研修群を横串で統括し、重複を抑えつつ品質・実装タイミングを最適化。 文科省事業3年間の集大成として、開発成果の継続普及（少なくとも3年）を前提に運用提案を準備。 eラーニング等のLMS連携を全体で整備し、全専研とTCE財団の連携で開発→普及を推進。 <p>教員研修テキスト・プログラム開発（新任教員向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門学校新任教員（概ね着任1～3年）向けの基礎知識・技能・職業的アイデンティティの獲得支援。 教員のキャリア形成モデルと資質・能力に関する報告書完成。 8時間構成の研修プログラムと対応テキストの完成（昨年度4時間分実証済、本年度で後半4時間を実証）。 委員会2回開催済、第3回を10月上旬予定。研究者ミーティングを多数実施し、テキストは10月上旬で完成度7割を目標。

- 昨年度の実証（群馬等）や3月の新任研修での実践結果を反映し改訂中。
- 第1回：福島（12/8 or 12/15）で後半4時間を実証。
- 第2回：1～2月に別会場で実施（候補：京都、受入校を募集）。
- 対象規模：10名程度の新任教員、グループワーク中心。
- 普及・デジタル化の検討論点：
- テキストは独習で理解・活用できる設計（紙＋デジタル両輪）。LMS上で章ごとのテスト・総合テスト等で学習到達を評価可能。
- LMS側機能でPDF提供、章末クイズ、合否基準、修了評価の運用が可能（猪俣氏示唆）。
- グループワーク成分はピュアレビュー等のオンライン相互評価で補完可能。
- コンテンツ動画化（実施講座の収録編集）による教材化を検討。
- 8時間パッケージは都道府県の新任研修への適用・展開を想定。
- 電子化・流通の追加コストと時間確保について、次年度の新規要求（予算化）提案を準備。
- 第3回委員会アジェンダに「完成後の普及策（LMS配信、動画・テスト、オンライン展開）」を正式議題として設定。
- 実証2拠点の最終確定（前半受講者の後半受講を優先し、3月の新任研修参加者への後半連動も検討）。
- 2月納品に向けたスケジュール堅持。

授業改善サポーター養成講座（中堅教員向け）

- 中堅教員を対象に、授業改善を自立的に推進できる人材育成と、校内横断の実践コミュニティ形成。
- 事前オンデマンド学習→対面講座→事後オンライン（継続ワーク）の学習導線で態度変容まで追跡。
- LMS移行完了（9/19実装、9/25オリエン実施、受講者14名〔うち再受講2名〕）。
- 既存動画・事前学習量が多く、適量化要望あり。コミュニティ機能はLMS＋補助としてFacebookグループを併用。
- 第1回対面：10/7@東京（デジタルハリウッド大学）。全国普及を意図し、今年度は東京開催へ。
- 第2回・第3回オンライン：11/4、12/1予定。1/9に有志オフ会（武蔵野大学 鈴木勝昭氏招へい）。
- 修了生・派遣元上司アンケート・ヒアリングは完了、成果物として報告予定。
- コミュニティ運営強化：既受講生からコミュニティリーダー4名選出、交流・勉強会の自走を支援。

- 継続性の要（ファーストスピーカー役・リーダー人材の明確化と運用の仕組み化）。
- LMS 継続費用・オフ会等の運営費（来年度以降の費用負担設計。受講料設定や補助の是非を検討）。
- 教育連携協定：熊本大学との講師派遣・継続運用のための連携協定案を作成中（講師費用、大学側メリットの明確化、窓口の最適化が論点）。
- 研修は「やりっぱなし」でなく、事後の実践・改善・評価までフォローする設計を維持強化（受講後の行動変容・成果証跡化）。
- 継続運営は補助金依存を避け、価値に見合う受講料設定で自立化を目指す（コミュニティ運営費も含めモデル化）。
- 全専研の会員研修ラインナップ（FD/SD 等）とも連携し、態度変容を伴う継続研修として拡張を目指す。

産学連携推進（リーダー育成・講座展開）

- 職業実践専門課程のキー要件である産学連携の実質化・高度化。
- 形骸化（前年踏襲・目的不明確）から脱し、先進事例・評価を踏まえた「正しい実装」への見直し。
- 校内で産学連携を牽引する「産学連携推進リーダー」の育成と配置を目指す。
- 推進講座（前者）は昨年度で完成。本年度 9/25-26 に香川（穴吹）で実証実施。
- 7 法人 10 校（うち非会員の参加も確保）。TCE 財団・岡山専各協会等を通じて告知拡大。
- 11/26-27 にリーダー育成講座を福岡（麻生会場予定）で実施。
- 対象は推進講座受講済者（本年 13 名＋昨年 17 名＝29 名）。既に 13 名中 11 名が参加希望。
- ファシリテーション難度を考慮し、段階的な帯同・共同実施で力量形成を図る。
- 認定・評価（終了認定の選択肢）制度として、
第 1 案（現実解）：研修受講後に理解度アンケート等を提出し、委託講師（キャリアリンク）で評価・認定。
第 2 案：第三者機関と連携し外部評価で認定（アンケート/実技の設計が要）。
第 3 案（理想）：各校で実施した講座の運営・成果を観察評価して認定（時間・調整の負荷大）。
今年度は第 1 案で進め、将来的に段階的高度化を検討。
- 「産学連携推進員リーダー」という人材像を明確化し、学校配置をエビデンスとして可視化。

- 学習成果評価・シラバス共同作成・企業メリット設計・フィードバック循環の実装を推進員が主導。
- 文科省への政策的提案（推進員配置校の評価優遇・指針化）により制度面での後押しを狙う。
- 実施形態は対面を基本（グループワークの効果性）。オンラインは補完的に活用。
- 講師運用は当面、キャリアリンクによる提供＋リーダー候補の帯同・共同運営で裾野拡大。受講料で講師費・運営を賄い自立化。

教職員研修実施（FD/SD 関連セミナー）

- FD 東京 11/13-14、福岡 11/18-19
- SD 東京 12/1-2、福岡 12/10-11
- 役割分担（案内文、司会進行、PC 環境、報告書作成）は NSG/麻生/宮崎総合等で分担（配布資料の一部表記ミスは次回修正）。
- 集客状況（9 月中旬時点、全 1,100 校に発送済み・最新データ）：
- FD：東京 32 名（満席停止）、福岡 31 名（満席停止）
- SD：東京 19 名（残 10 程度）、福岡 16 名（残多数）
- 1 月末：成果報告ビデオ作成予定。
- 次年度以降も会員サービス/有料研修として継続展開を検討

LMS（学習管理システム）活用・運用モデル

- 前線研 LMS に熊本大学開発コンテンツを移植済（事前学習・課題・ディスカッション稼働中）。
- コース横断で資格（修了）を可視化、前提条件設定・学習ロック・小テスト・総合テスト等の機能で到達度管理が可能。
- 共通事業成果物（自己点検・計画策定）も 10 月上旬搭載予定。
- 全研修を LMS に順次統合し、事前・事後学習と評価の標準化、動画・テキスト・課題を一元配信。
- 会員価格／一般価格の二本立てで受講料設計し、LMS 利用料・運営費を賄う自立採算へ。
- 研修の修了基準・評価指標を明確化し、修了証・バッジ等で可視化（推進員等の人材認定と連動）。
- 受講履歴・評価データの蓄積により、改善 PDCA と外部評価のエビデンス基盤を整備。

リスク・課題と対応

- グループワーク等の高効果成分を維持しつつ、デジタル補完（動画・ピアレビュー・小テスト）で地方・少人数校にも到達。

	<ul style="list-style-type: none">• 次年度のデジタル化加速に向けた新規要求（動画制作・教材開発費）検討。補助金非依存の受講料モデルを設計。• 熊本大学・研究機関等との連携協定で講師派遣・教材更新の持続性を確保（大学側メリットと費用条件の明確化）。• 今年度は現実解（研修後評価による修了認定）で運用し、中期的に第三者評価や実地観察を組み込む段階モデルへ。 <p>次期に向けた方向性（統括）</p> <ul style="list-style-type: none">• 3事業（新任・授業改善・産学連携）+FD/SD実施を、LMS中核のハイブリッド設計で接続し、学習成果と態度変容を可視化す• 「産学連携推進員」等の人材像を制度・評価と接続し、配置校の価値を高める政策提案を準備。• 会員価値の明確化（価格・特典・修了認定・継続コミュニティ）により、前線研の持続的な収益・普及基盤を確立。
配布資料	